

種別： 男子 **大会名** 平成18年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会
 第41回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会 試合番号 4

試合日：平成18年8月5日	第 1 日目	第 1 試合	1 回戦	大阪府寝屋川市	南寝屋川公園市民グラウンド
開始時間	9時06分	終了時間	11時31分	中断時間	試合時間 2時間25分
(球 審)	土江 広之	(一塁塁審)	川崎 忠義	(二塁塁審)	山内 捷司
		(三塁塁審)	福江 明久	(副 審)	安部 博文

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
京都府立南陽高等学校 (京都)	0	0	1	3	0	0	0								4	5	0
正則学園高等学校 (東京)	0	1	1	0	1	0	0								3	8	0

チーム名	投 手	捕 手
京都府立南陽高等学校 (京都)	緒方 孝行・倉 宏輔	杉本 将樹
正則学園高等学校 (東京)	小池 直之	伊藤 堯寛

チーム名	本 塁 打	三 塁 打	二 塁 打
京都府立南陽高等学校 (京都)			湯川 慎也
正則学園高等学校 (東京)		富岡 健人、小池 寛之	筑波 翔汰

(戦評) 南陽高校接線を足攻で制し、2回戦進出！！

南陽高校は、1点リードされた3回表、無死一塁から杉本が二盗、三盗。二死となるも一番宇野の二遊間タイムリーで追いついた。さらに4回、先頭三番湯川がショートへの内野安打で出塁後、代走藤本が二盗。四番緒方が四球を選び、五番大江の2球目にダブルスチールに成功。その後も、ヒットと四球などで3点を挙げ逆転した。

一方の正則学園は3回、先頭の一三番筑波がレフトオーバーの二塁打、一死後、三番大関のセカンド左横を抜けるヒットで勝ち越したが、南陽高校の足を絡めた攻撃に涙をのんだ。



公式記録員 水門 裕子
 戦評記載者 松下 英樹